

7/9 Hirado City Photo News  
子どもの水難事故防止を祈願



子どもの水難事故防止の願いを込めてかっぱ(がわっぱ)を供養する「がわっぱ祭」が田平町で開催されました。田平には、いたずらが過ぎたかっぱたちが、寺の和尚によって川底に封じ込められたという民話が江戸時代から伝わっています。当日は、かっぱのいでたちの町内有志や、大勢の子どもたちが平戸瀬戸市場前に集まり、町内をパレードしました。その後、田平町民センターに会場を移し、名物の約38メートルのかっぱ巻きづくりや、がわっぱ相撲大会などが行われ、子どもから大人まで大いに楽しみました。

7/14 Hirado City Photo News  
「国際公募アート未来展」内閣総理大臣賞受賞



第21回国際公募アート未来展において、大島中学校美術教諭の鶴崎智子さんの作品「白鯨」が、320点の応募の中から、内閣総理大臣賞に輝きました。「白鯨という、現実世界では存在しない生き物を描くことで、生命の神秘さを伝えたい。今後も美術教師としての資質向上を目的に、制作を続け、他の公募展などにも積極的に挑戦していきたい」と話していました。なお、受賞作品は8月7日(日)～17日(水)まで未来創造館にて展示を行う予定です。

作品名:白鯨

7/5 Hirado City Photo News  
学校で郷土愛について学ぶ



南部中学校において、地元で働く人を講師に迎えて、平戸の郷土愛についての授業が行われました。この授業は、道徳授業の一環として行われ、今回は、平戸花壇の林浩司さんが「縁、出会い、感動」と題して講演がありました。「自分が生まれ育った平戸に仕事を通じて貢献したい」という思いや、仕事の中でのエピソード、また花に「平戸」という名前をつけたいという夢に向けてさまざまな苦悩があったが、あきらめずに続けていくことで夢は叶うということをお話しました。

7/5 Hirado City Photo News  
18歳選挙になって初の投票



公職選挙法の改正により、選挙権の年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられたことにより、7月に行われた参議院議員通常選挙から、18歳以上の高校生にも選挙権が与えられました。今回、市内の高校にも期日前投票所を設置し、生徒も立会人や事務補助員を行いました。投票所閉鎖後は、生徒全員で投票所内の見学を行ったことで選挙が身近なものであると感じていました。また、投票を行った生徒たちは「社会に一步踏み出した。学校で投票するので、生徒たちも行きやすい」と話しました。

7/20 Hirado City Photo News  
2年連続県大会優勝



7月3日に島原市で開催された第26回長崎県少年相撲選手権大会個人戦小学2年生の部において、生月小学校2年生の田淵龍馬くんが見事2年連続で優勝しました。なお、9月11日(日)に鹿児島県日置市において開催される第22回全九州わんぱく相撲大会に出場します。田淵くんは、昨年も同大会に出場しましたが、惜しくも決勝戦で敗れて準優勝でした。今年はそのリベンジに向けて練習にも早くから取り組み「去年悔しい思いをしたので、今年こそは優勝したいです」と力強く話しました。

7/15 Hirado City Photo News  
県北初の全国蒲鉾品評会受賞



第68回全国蒲鉾品評会において、川内町の大吉蒲鉾が製造した「九十九島あごだし明太子かまぼこ」が県北地区で初となる全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会長賞を受賞しました。角田さんは、これまで「極上・金すばかまぼこ」や「カマンベールチーズかまぼこ」の新商品を開発し、県内の品評会で長崎市長賞なども受賞されています。4代目の和輝さんは「自分が生まれ育った平戸に今後は恩返しができるよう、今後も新しい商品開発を続け、川内かまぼこの発展とブランド化に取り組んでいきたい」と話しました。

7/14 Hirado City Photo News  
英雄の偉業を称える



鄭成功記念館周辺で「鄭成功生誕祭」が台北駐福岡経済文化弁事処の職員や、中国、台湾からの関係者も参加し開催されました。

式典では、台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊処長が「両国で地震が発生した際は、両国とも迅速な対応で援助活動を行うなど、お互いに災害を乗り越えていく運命共同体だと感じました。これからも両国がすばらしい未来を築くためにお互いベストを尽くしましょう」とあいさつされました。

その後、園児らによる和太鼓演奏、「中野自安和楽」保存会によるジャンガラも奉納されました。

7/7 Hirado City Photo News  
水道の大切さを考えて



市社会福祉センターで「第58回水道週間」市水道事業作品表彰式が開催されました。

市内小学校の児童を対象に「水道に関するもの」「水道の役割や大切さをアピールするもの」などについて、作文、標語、図画、ポスター、習字の5部門で募集しました。市内8小学校から合計484点の応募があり、各部門ごとの審査の結果、36作品が入賞しました。

また、今回入賞された作品は、日本水道協会などが実施する「第58回水道週間」協賛全国懸賞募集の応募作品として出品されます。

7/17 Hirado City Photo News  
梅雨明けの絶好の天気の中、白熱したレース



今回で20回目を迎えた「館浦競漕船大会2016」が館浦宮の下広場・港内一円で開催されました。

今回は、初めて高校生チームが参加したほか、漁業研修生のインドネシアチームや、縫製工場で働くカンボジアチームが初参戦しました。

レースでは、真つすぐ進まずコースから離れていくチームや、ゴールできず曳航されるチームなど、練習どおりにいかないチームもありましたが、全チーム一生懸命頑張っていました。また「魚のつかみ取り」や「おさかなふれあいコーナー」も設置され、子どもたちは夢中で楽しんでいました。



7/17 Hirado City Photo News  
田平の交流促進を担う施設に



田平支所前において「たびスポトレーニングジム」が開設しました。

たびスポは、少子高齢化や人口減少が進む地域をどうにかしようという思いから、スポーツを通じて健康で笑顔あふれる地域をつくるために発足しました。会長の石口源太郎さんは「たくさんの人にこのトレーニングジムを、体力向上や健康維持、介護予防などを目的に利用してもらいたい。そして、この拠点で地域交流の一翼を担う施設となればと思いますので、これからも地域住民のご支援をよろしくお願いします」と話しました。

7/14 Hirado City Photo News  
北松農業高校×ふるさと納税



市と北松農業高校は、ふるさと納税と高校の生産品の取り組みを連携することで、地域の教育力を活かした知的財産教育を導入することを目的に「平戸市ふるさと納税×北松農業高等学校コラボプロジェクト」を実施します。

今回、第1弾として北松農業高校全生徒の前で、本市のふるさと納税の取り組みについて講演を行いました。今後は、返礼品の取り組みなどのプロジェクトを通して、魅力的な商品開発、事業者として必要な発想力や課題解決能力など「生徒の見えない学力」向上を目指します。

7/7 Hirado City Photo News  
志々伎まちづくりの拠点が始まる



志々伎ふれあい会館において、志々伎地区まちづくり運営協議会の事務所の開所式が開催されました。

志々伎地区では、少子高齢化による人口減少などにより集落の衰退化が進む状況を改善していくため、本年1月1日付けで同協議会を発足。本協議会の拠点施設として地域の人たちが集う志々伎ふれあい会館内に事務所を設置しました。

会長の真辺建光さんは「志々伎には素晴らしい地域資源がたくさんあるので、これを活かして元気ある地域にしていきたい」と話しました。

7/7 Hirado City Photo News  
ねんりんピックまであと100日



ねんりんピック開催100日前イベントとして未来創造館に設置するカウントダウンボードの除幕などが行われました。

開催地チームとして出場する平戸市選抜チーム「ロマン平戸」の決意表明や、大会実行委員会会長である黒田市長の激励の言葉などがありました。また、みのり保育園の園児によるねんりんピックダンスや七夕の日にちなんで童謡「たなばたさま」の合唱などが披露されました。会場には、ねんりんピック応援団のがんばくんとらんばちゃんも登場し、大いに盛り上がりしました。